

HCG036-P05

会場:コンベンションホール

時間:5月24日 14:00-16:30

筑後川で掘削されたコアにみられる洪水堆積物の特徴 Characteristic of flood deposits in the Chikugo-gawa River, Kyusyu, West Japan

鎌滝 孝信^{1*}, 稲崎 富士², 新井 孝志³
Takanobu Kamataki^{1*}, Tomio INAZAKI², Takashi Arai³

¹ 応用地質株式会社, ² 独立行政法人土木研究所, ³ 株式会社大和地質研究所

¹OYO Corporation, ²Public Works Research Institute, ³Daiwa Geological Laboratory

洪水による堆積作用は、内湾河口域周辺の底質環境や地形発達にとって重要な役割を果たしていると考えられる。しかしながら、現世洪水堆積物の研究は氾濫原等の堆積物を対象としたものが大半で、河道域の堆積物でその特徴を詳細に論じた例はあまりみられない。ここでは、洪水時の河道における堆積様式を明らかにするため、筑後川の河床で得られたコアの堆積学的解析をおこなった。

本研究では、有明海に面した筑後川河口域で採取されたコアを使用した。コアの採取は洪水前後の2回おこなわれ、洪水前と洪水後の堆積物を比較検討した。1回の洪水で堆積した堆積物を識別できるかを検討するため、半割されたコアの表面を詳細に観察し、その後粒度分析と帯磁率測定をおこなった。その結果、筑後川河口域では、洪水前後で表層10数cm程度の堆積物が入れ替わっていることが分かった。

発表では、河口域の河道に堆積した洪水堆積物の特徴について、観察、解析結果を報告し議論、考察をおこないたい。

キーワード: 洪水堆積物, 堆積構造, 筑後川

Keywords: flood deposits, sedimentary structure, Chikugo-gawa River